

ホテルを核とした賑わいと交流のまちづくりへの支援

平成30年7月

【担当省庁】 国土交通省

○東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催年の

2020年春まち開きに向け、

平成30年度当初予算にご配慮いただいたこと、心より感謝。



国にお願いすること

○真に国際競争力のある奈良県を目指す最重要プロジェクトへの

国の継続的な財政支援

【奈良県における取組】

ホテルを核とした賑わいと交流のまちづくり

観光都市でありながら、消費の少ない日帰り観光が主



○課題

- ・本県は多様な文化・観光資源が豊富にも関わらず、日帰り観光では文化・観光資源にふれて頂く機会が限られる。
- ・日帰り観光では、県内消費や、雇用創出効果が見込めない。



○取組

官民連携(PPP)により、新たな賑わい拠点を創出

コンベンション施設等の新たな交流拠点を県が整備するとともに、最高級国際ブランドホテル(JWマリオット)やNHK放送会館の整備により、インバウンドを含む観光客や国際会議を受け入れ、県経済の活性化及び奈良ブランドの一層の向上を図る。

「ホテルを核とした賑わいと交流のまちづくり」において、平成28年度から社会資本整備総合交付金事業の都市再生総合整備事業(総合整備型)や道路事業を活用。



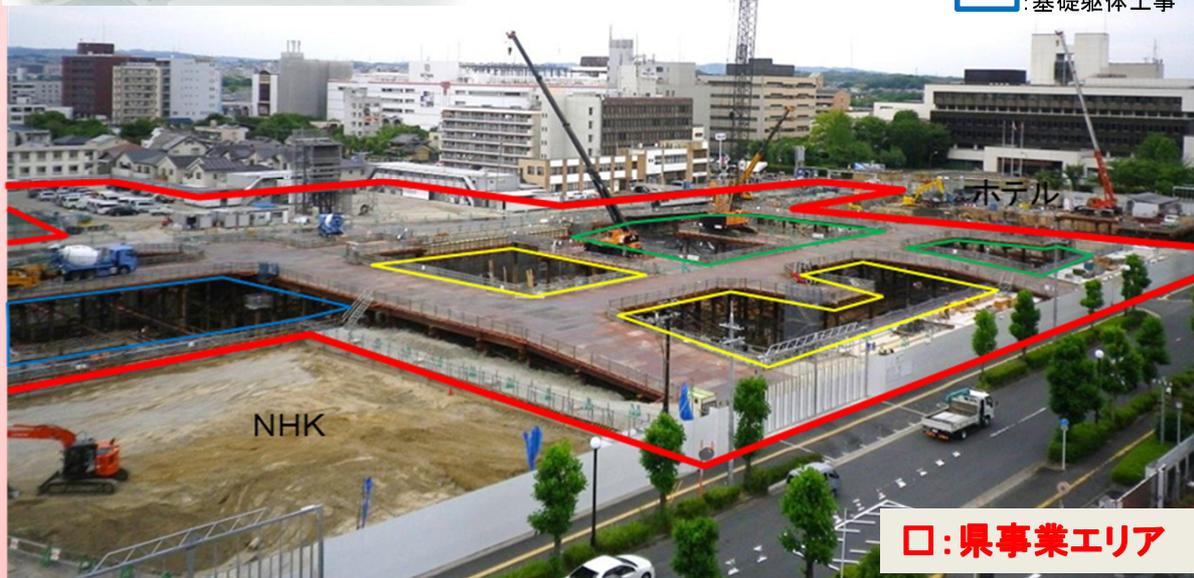
2020年春の完成を目指し、今年度は、施設の建設工事を推進。

コンベンション施設の施工状況と完成イメージ



施設施工状況
(H30.6.5.南東から撮影)

- (コンベンション施設)
■ : 地下躯体工事
■ : 基礎躯体工事
(観光振興施設)
■ : 基礎躯体工事



○奈良県初、2,000人規模の国際会議開催が可能なコンベンション施設と大屋根付き屋外多目的広場



○歴史・文化の発信拠点
地域に開かれた放送局



○世界中に会員を有する
最高級国際ブランドホテル



【県担当部局】 まちづくり推進局 大宮通り新ホテル・交流拠点事業室